

# 歯科における くすりの使い方

2011-2014

編集委員

金子明寛(東海大学医学部)

椎木一雄(総合磐城共立病院)

天笠光雄(東京医科歯科大学大学院)

佐野公人(日本歯科大学新潟生命歯学部)

川辺良一(聖路加国際病院)

4年ごとに刊行される好評図書。今回は、「薬がわかれば、診療が変わる」をテーマに、

①内科疾患治療ガイドラインから学ぶ歯科での対応を紹介、②抗菌薬、鎮痛抗炎症薬、歯科疾患治療薬などを解説、③内服薬処方箋は、新たな記載方法に沿って表示、④口腔症状に対する漢方薬や「最新・一次救命処置」を具体的に掲載、の4つのポイントを中心に薬について多岐にわたり記載。

## CONTENTS

内科疾患治療ガイドラインと歯科での対応

○高血圧○虚血性心疾患○脳卒中○慢性腎臓病(CKD)○抗血栓療法 他

1章 抗菌薬、抗ウイルス薬

○抗菌薬を使用する前に○感染症の検査○抗菌薬の作用機序 他

2章 歯科疾患治療薬

○白板症○口腔カンジダ症○ウイルス性口内炎○带状疱疹 他

3章 漢方薬

○漢方を処方する先生方へ○口腔症状に対する漢方薬処方 他

4章 鎮痛薬・抗炎症薬

○非ステロイド抗炎症薬(NSAIDs)の種類と使い分け 他

5章 局所麻酔薬

○市販の局所麻酔薬○血管収縮薬を考慮した投与方法 他

6章 救急薬

○アナフィラキシー反応○心肺蘇生法○救急薬品と使用法 他

7章 消毒薬、含嗽剤

○手指消毒薬～手洗い法にあった消毒薬～○歯科器具の消毒薬 他

8章 主要薬品一覧表

くすり・プラスワン

○ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に対するポジションペーパー 他



A4判・328頁・オールカラー  
定価(本体7,000円+税)



← 詳しい情報はこちら